



11月 はとぐみだより

令和2年11月26日(木)

幼保連携型認定こども園

津田このみ学園

朝夕、ずいぶん肌寒くなってきました。子どもたちは「走ったら暑くなるから服、脱いでいこう」と、トレーナーや上着を脱いで部屋を飛び出し、戸外へ出かけて行きます。そして園庭や畑で、鬼ごっこや大縄跳び、鉄棒などいろいろなものにチャレンジしながら、友達との関わりを楽しんでいます。

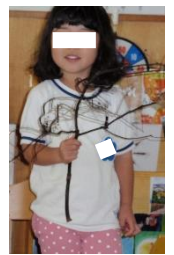


いろいろな音が聞こえるよ

おかあさんといっしょの歌など誰かが口ずさむと、「みんなで歌おう」とあつという間に大合唱。振り付けを考え出す子がいたら、皆でまねっこ。手をつないだり、向かい合って踊ったり笑顔が溢れています。

ある日、Aさんが段ボールを切ってギターを作り始め、歌の時にもってきました。「うわっ、私も作りたい!」「どうやって作るの?」とクラスに楽器づくりが広まり、マラカスや、ギター、和太鼓まで出来上がってきています。「楽器がいっぱいできたら音楽会したいな」「音楽会に来てねって入口に貼っておこう」と看板を作ろうとするBさん。

また、公園での散歩でも音探しが始まっています。枝と枝を合わせて叩いたり、すり合わせたり…。枯れ葉がついた枝を振ってみると「なんかいい音がする〜」「カサカサって聞こえる!?!」「これも合奏できそう」まだまだ、いろいろな音が見つかりそうなはと組です。



遠足、たのしかったよ!

19日「明日、雨かな!? お願いしたら神様が晴れにしてくれるかなあ?」「大きいてるてる坊主つくったら?」CさんやDさんが皆を誘って、大きくなるてるてる坊主を作りました。みんなで空に向かって手を合わせてお願いしました。そして翌日、雨は上がって曇り。登園してきた子どもたち、「今日は遠足行ける!」「スーパーてるてる(坊主)が聞いてくれた!」とロク々に話していざ公園へ。

広場では、爆弾鬼と増え鬼をしていっぱい走りました。「ようい、ドン」とかけっこもしました。鬼ごっこの後は、散策。音探しをしている子や、色づいた落ち葉や、雨のしずくがついた落ち葉を拾ったり、ドングリを見つけたりと秋の宝物をたくさん探していました。また、岩場では自分の力を試して登ったり、ジャンプして降りたりしていました。「ここ、はと組の秘密基地にしよう」とごっこ遊びも始まっていました。いよいよ、こどもたちが一番楽しみにしているお弁当タイム。蓋を開けると「うわ!かわいい」「美味しそう!」と嬉しそう声。遠足の話、おうちでできたかな?



朝夕、肌寒い日も増えてきました。日中は日差しを受けて暖かいので、衣服の調整をしながら、元気に過ごすことができるように心がけていきたいと思えます。こどもたちが着脱できるように、黄色トレーナーの下には体操服や薄手の長袖など、重ね着で登園してください。